

「日本活断層学会 2020 年度秋季学術大会（オンライン開催）」
のお知らせ（第 2 報改訂）

2020 年度秋季学術大会実行委員会

日本活断層学会 2020 年度秋季学術大会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、現地開催（11/21-23，富山大学五福キャンパス）を中止して、以下の日程でオンライン開催することといたしました。多数の皆様の御参加をお待ちしております。

1. 日程

2020 年 11 月 22 日（日）～23 日（月祝）

11 月 22 日（日）一般研究発表，シンポジウム

11 月 23 日（月祝）一般研究発表

2. 開催方法

Zoom によるオンライン開催（詳細は後日学会 HP 等でご連絡します。接続確認日（練習会）を事前に設けます。）

3. プログラム（発表件数等により時間に変更になる場合があります）

11 月 22 日（日） 9:00～12:00 一般研究発表（口頭発表）

12:00～12:30 各賞受賞表彰式・学会賞受賞記念講演

13:30～16:30 シンポジウム

（同時に YouTube で Live 配信）

11 月 23 日（月祝）9:00～12:00 一般研究発表（口頭発表・ポスター発表）

※巡検・懇親会は開催しません。

4. 大会シンポジウム 11 月 22 日（日）13:30～16:30（予定）

「活断層に関連する地形・地質の保護・保全の現状と展望」

<主催>日本活断層学会

<共催>一般社団法人立山黒部ジオパーク協会

<後援>特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク

<対象>関連分野研究者，技術者，大学生，大学院生などに向けて一般公開

<趣旨>活断層周辺の地形・地質は，過去の地震や地形の移り変わりを記録する価値ある遺産ですが，豪雨などにより崩壊したり，安全対策や土地開発の中で覆われたりして観察することができなくなってしまうこともあります。このような地質遺産の保全に関する議論と実践が日本各地のジオパークなどで積み重ねられており，活断層をジオサイトとして教育や観光に活用している地域もあります。活断層に関連する地形・地質は，研究，教育，防災，観光などの活動における重要な資源としての活用がこれからも期待され，その保護・保全に関する議論を深めることは地域の持続可能な発展への貢献にもつながります。

以上の背景から、本シンポジウムでは、近年盛んになっているジオパーク活動との関連も踏まえ、活断層周辺の地形や露頭の保護・保全の例、またその課題や今後の展望について情報・意見交換を行いたいと思います。

<プログラム>

- 13:30-13:40 趣旨説明
- 13:40-14:05 県立博物館が行う跡津川断層真川露頭の教育利用について
丹保俊哉（公益財団法人立山カルデラ砂防博物館）
- 14:05-14:30 熊本県益城町における天然記念物布田川断層帯の保存活用の
現状と展望
森本星史（益城町教育委員会）
- 14:30-14:55 断層破碎帯の保全と野外展示
ーフォッサマグナパーク、糸魚川ー静岡構造線の例ー
竹之内耕（フォッサマグナミュージアム）
- 14:55-15:10 休憩
- 15:10-15:35 ジオパークにおける活断層の保全と活用
ー伊豆半島および山陰海岸を事例にー
新名阿津子（伊豆半島ジオパーク 推進協議会）
- 15:35-16:00 「活断層」×「ジオパーク」＝ 変動する日本列島を語る
コンテンツ
山口 勝（日本放送協会放送文化研究所）
- 16:00-16:30 総合討論

※シンポジウムは一般公開（Zoom 開催画面を同時に YouTube で Live 配信）で行います。

5. 参加費

- ・学術大会参加費：会員無料，非会員 3,000 円
- ・法人会員の方は所定の人数分，無料にてご参加いただけます。

※シンポジウムはどなたでも参加費無料です。

6. 一般発表会の申し込み

- 投稿開始：2020年9月7日（月）12:00
- 投稿締切：2020年10月9日（金）12:00 必着
- 予稿集原稿のPDFファイル（フォント埋め込み）を添付して電子メールにて実行委員会アドレス（toyama-af-fm@sus.u-toyama.ac.jp）までご送付ください。その際メール本文に以下の項目を記してください。
 - a. 発表代表者の氏名・所属
 - b. 連絡先（住所・メールアドレス）
 - c. 発表題目
 - d. 著者（所属・氏名）
 - e. 発表希望形式（口頭・ポスター）
 - f. 年齢（若手優秀講演賞に該当する場合）
- 発表者1人の発表件数に制限はありません。発表者には少なくとも1名の会員を含むものとしますが、申込時に会員でない方も、発表当日までに入会いただければ発表可とします。
- 発表形式については時間の関係で変更をお願いする場合があります。
- 発表に使うパソコン・タブレット等は各自でご準備下さい。
- Zoomに接続できるよう事前にご準備ください（接続確認を兼ねたZoomの練習会を設定する予定です）。
- ポスター発表はZoomのブレイクアウトルームを使って行います。その他、2分程度のショートプレゼンテーションとポスターのオンライン展示も実施します。ポスターの二次利用を避けるため、画像ファイルをアップロードする形式を検討中です。
- 予稿集原稿の執筆要領
 - a. 1件の発表につきA4サイズ2頁以内とします。
 - b. 用紙縦置きで横書きとし、余白は左右25mm・上端30mm・下端35mmとします。
 - c. 予稿の内容は、上から「和文タイトル」「和文著者名（所属）」「英文タイトル」「英文著者名」「本文」の順とし、「和文タイトル」「和文著者名（所属）」「英文タイトル」「英文著者名」は中央揃えとしてください。また「英文著者名」と「本文」の間は1行空けてください。本文が英文の場合「英文タイトル」「英文著者名（所属）」「本文」としてください。そ

- の場合「英文著者名（所属）」と「本文」の間は1行空けてください。
- d. 複数著者による発表の場合には、発表者の氏名の左肩に ° を付してください。
 - e. 書体・サイズは、タイトル・著者名はゴシック体かサンセリフ体の 14 pt, その他は明朝体かセリフ体の 11 pt を基本としますが、異なる書体・サイズでも受け付けます。
 - f. 図・表・写真の挿入は可能です。
- ・公序良俗に反する内容, 他人を誹謗中傷する内容, その他日本活断層学会の学術大会にふさわしくないと認められる発表申込については受付を拒否することがあります。
 - ・本大会では, 学術大会の口頭発表およびポスター発表を対象として, 会員・非会員を問わず「若手優秀講演賞」を授与します。選考対象は, 筆頭発表者が 2020 年 4 月 1 日時点で 39 歳未満の発表とします。該当する場合は申込み時に年齢をお知らせ下さい。
 - ・予稿集原稿の著作権は, 日本活断層学会の著作権規程に従い日本活断層学会に帰属するものとします。

7. 企業展示

今大会では, 企業展示 (オンラインでのポスター展示, 休憩時間を使った宣伝および PDF 予稿集での広告掲載 1 ページ) を募集しています。賛助会員は 1 件につき 1 万円, 非会員は 1 件につき 2 万円をお受けします。ご興味のある方は大会実行委員会までご連絡ください。

お問い合わせ先:大会実行委員会 toyama-af-fm@sus.u-toyama.ac.jp